

## 高等学校や高等教育機関では、どのような取組がなされるの？

すべての高等学校でキャリア教育を推進することが平成22年度から先行実施されている新しい学習指導要領に明示されています。

職業選択や進学に直接つながる高等学校では、「中期ビジョン」の中で、「地域・日本を自分が支えるという気概を持ち、グローバルな視点で多様な見方・考え方のできる生徒の育成」（大館鳳鳴高等学校）、「地域社会と一体感を持って貢献できる生徒の育成」（大館高等学校）など地域の実態に応じた特色ある取組、目指す方向性を示しています。

また、文部科学省は高等学校のキャリア発達課題として、次の視点を掲げています。

- 1 社会的・職業的に自立するために必要な基盤となる能力や態度を育成する
- 2 キャリアを積み重ねていく上で必要な知識等を、教科・科目等を通じて理解させる
- 3 体験的な学習の機会を設ける
- 4 生徒が自ら価値観を形成し、とりわけ勤労観・職業観を確立できるようにする

### ＜地域と連携した指導・体験学習＞

- ・同窓生や社会人講師、高等教育機関による職業講話
- ・企業見学・インターンシップ（2週間程度）
- ・研究施設・大学研究室訪問
- ・挨拶、マナー、話し方講習会
- 専門性を生かした技術ボランティア
- 小学校へのお出前授業
- クリーンアップ、祭りのボランティア
- 地域行事への参加
- 環境保護活動

### 高等学校



### 高等教育機関

高等教育機関である短期大学校、大学、専門学校でも、技能・技術など専門性の習得はもちろん、地域の協力を得ての就労体験（企業委託実習、インターンシップ）が行われています。また、地域貢献となる活動への参加にも力を入れています。

### ＜地域と連携した指導・体験学習＞

- ・就職ガイダンス、ジョブ・カード面談会
- ・卒業生による職業講話、就職講話
- ・企業見学・インターンシップ（2週間）
- ・コミュニケーション・ビジネスマナー
- 地域イベントの運営補助
- クリーンアップ、祭り等のボランティア



近い将来、自らを生かしながら社会に参画し、そこで自己の立場に応じた様々な役割を果たしつつ自立できる力の育成を目指して、今までの取組のさらなる拡充・深化が求められています。

高校教育、高等教育の中でもふるさとを愛し、ふるさとに根ざしながら中央や世界を相手に活躍する人材、ふるさとを離れてもふるさとを思い、ふるさとを支える人材を育てていくための積極的な取組がなされていきます。